

獅子吼

WWW.URAYASU-LC.JP

47th 2018.9 No.85
編集：P R・I T情報委員会

2018～2019年度 浦安ライオンズクラブスローガン

「未来へつなごう 心ある奉仕 We Serve」

会長挨拶

このたび浦安ライオンズクラブ第47期会長に選任いただき、誠に光栄なことと思っております。3年後に50周年もひかえ、その責任の重さを真摯に受け止めております。皆様のご指導、ご協力のもと、クラブがひとつにまとまり、より良いクラブの運営ができるように心がけていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今期の会長スローガンは、“未来へつなごう 心ある奉仕 We Serve”とさせていただきます。わがクラブは、先輩ライオンのご尽力とご活躍により、伝統と文化のあるクラブとなっております。先輩方が築き上げてこられた、心からの奉仕の精神を、これからも永遠に繋げていくために、今何をしたらよいのかという思いからこのようなスローガンにさせていただきました。

今期の目標は理事会でご承認をいただき下記のようにいたしました。

1 会員増強ならびに会員維持

会員拡大5名(50周年までに50名の正会員を目指す)を目標にしています。そのためには、メンバーの皆様より、新しいメンバーのご紹介をいただきたいと思っております。また会員維持のため、充実した奉仕活動や有意義な例会の運営をしていきたいと考えています。

2 地域社会との連携とP R活動を行う

ライオンズクラブの活動を積極的にアピールし、地域での活動をご理解いただき、ともに奉仕ができる関係をもっと広げていきたいと考えています。ともに奉仕をすることで、信頼関係を築き、色々な場面で、お互いに助け合える関係を常に構築していきたいと考えています。各委員会が積極的に活動できるようにフォローいたします。

3 支部結成のための準備

ライオンズクラブを取り巻く社会状況を考えると、これからはいろいろな奉仕のスタイルが考えられます。メンバーの職業、年齢、性別などの多様化を図り、各メンバーの状況により、等身大の奉仕ができる環境を整えたいと考えています。そのための準備として支部を活用していきたいと思っております。入会いただくメンバーが、自分ならどのような奉仕ができるか考えることで、新しい奉仕の形も築き上げることができると考えています。

未来へ、ライオンズクラブの心ある奉仕活動がつながるように、皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、日ごろからライオンズクラブの活動を応援していただいている皆様に心から感謝いたします。



浦安ライオンズクラブ
第47期会長 L 広瀬 直樹



ごあいさつ

平成 29 年 3 月の市長就任以降、見直しや中止すべき事業を洗いだすとともに、市政発展のために必要な新規事業を立ち上げるべく、施策事業の総点検を実施してまいりました。

浦安市は埋め立て地での開発が終盤に差し掛かり、これまでの発展期から成熟期へと移っており、本市がこれからも成長を続けていくためには、本市を取り巻く環境の変化に対応したまちの「リノベーション」が必要であると考えております。震災からの復興も道半ばであり、少子高齢化をはじめとした取り組むべき課題は山積みしておりますが、全力を傾注してまいりますので、引き続きのご理解、ご協力をお願いいたします。

浦安ライオンズクラブの皆様におかれましては、Liberty Intelligence Our Nation's Safety の言葉が示すとおり、奉仕の理念に基づいて、地域の発展のために、皆様の団結力を活かし、より一層のご活躍をご期待申し上げます。

結びに、浦安ライオンズクラブのさらなる発展と会員皆様方の、ご健勝、ご多幸を祈念してご挨拶といたします。



チャリティーゴルフ大会に寄せて

浦安ライオンズクラブ恒例のチャリティーゴルフ大会は今年 37 回目を迎えることとなりました。今回も大会の趣旨にご賛同いただいで参加されます皆様方の温かいご理解とご協力に心より感謝申し上げます。皆さまから頂きました貴重な財源は、浦安市内の「社会福祉」「青少年健全育成」「国際親善」などの活動資金として有効に活用させていただきます。

毎年参加される常連さま、そして初めて参加の方々も、地域に繋がる大勢の皆さまが一堂に会してゴルフを楽しみながら社会貢献に寄与し、プレイ後のパーティーでは和気藹々と互いの絆を深めあうことは素晴らしいことだと思います。

チャリティーゴルフ大会は我がクラブの一大イベントであり、万全を期すため 6 月から準備を進めてまいりました。当日は大勢のクラブメンバーが早朝より皆さまをお迎えし、おもてなしの心で対応して参る所存です。サンルートプラザ東京にて行われます表彰式には沢山の賞品をご用意しておりますので、こちらにも是非ともご出席頂きますようお願い申し上げます。

終わりに、皆さまのご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。



浦安市長 内田 悦嗣 様



浦安ライオンズクラブ
チャリティーゴルフ実行委員長
L 吉田 賢太郎



グアメリカライオンズクラブへの訪問

日程

平成29年10月15日(日)～18日(水)

参加者

会長 L 熊切克巳、前会長 L 古河守男、L 吉田賢太郎、L 谷口教仁
L 内田千尋、L 北村理光(日立桜ライオンズクラブ所属)、
L 吉野みどり(柏なの花ライオンズクラブ所属)

訪問の 目的

平成29年4月9日(日)浦安ライオンズクラブ結成45周年記念式典を行いました。その記念事業の一環としてグアムのグアメリカライオンズクラブと姉妹提携を締結いたしました。その記念として、グアメリカライオンズクラブの分と浦安ライオンズクラブのバナーをそれぞれ作り、浦安ライオンズクラブのバナーをグアメリカライオンズクラブの方がグアムに持参いたしました。この度、グアメリカライオンズクラブのバナーを我々浦安ライオンズクラブのメンバーが持参し現地にて交換のセレモニーを行う為であります。

10月15日(日) 成田空港—ユナイテッド航空—UA874便—21:20出発

10月16日(月)現地時間午前2時到着し混載車にて宿泊ホテルであるプラザホテルに到着。午後4時まで時間があるので、9時40分にホテルを出発しアトランティス潜水艦に乗って海底48メートルまで潜水し雄大な珊瑚礁と青色黄色と色とりどりの熱帯魚、海の生き物たちを見学しました。

その後ホテルに戻り、午後4時グアメリカライオンズクラブの方々とグアムの公立病院でありますグアムメモリアル病院へ行きました。国際親善事業の一環としてグアメリカライオンズクラブと浦安ライオンズクラブと協賛に依り車椅子を2台(\$1000)、グアムメモリアル病院へ寄贈いたしました。チーフ、ファイナンスオフィスのベニタ、A、マングロナさんから予算がなくてなかなかそろえられないのですよ、有難うございましたと感謝とお礼のお言葉を頂きました。

そのあとセレモニー会場でありますローンスタールレストランに移動しラフなスタイルでグアメリカライオンズクラブのバナーと浦安ライオンズクラブのバナーの交換をそれぞれの会長(Dr.リンダディーンさんとL熊切克巳)が行いました。それから懇親会に入りお互いに交流を深めました。そのセレモニーに今期のガバナーであります、アルツロC.ナバローさんも特別参加されました。



L 内田 千尋



合同アクティビティ 車イス2台



グアムメモリアル病院前で
贈呈した車イス2台の前で

10月17日（火） 島内一周観光

ホテルのあるタモンから南に向かって「アサン」と言うところ、太平洋戦争国立歴史公園に先ず寄りました。1944年アメリカ海兵隊がグアムに再上陸した際の上陸地点、日米の激しい戦闘が繰り広げられ多くの命が失われました。今は公園になっております。今の平和の有難さをかみしめ感謝するのみです。

次が「アガット」と言う所、スペイン橋、緑に映える美しい古橋、18世紀後半のスペイン統治時代に当時の建築技術を酷使して作られた眼鏡橋を車の中から見ました。

次が「ウマタック」と言う所、スペイン統治時代、フィリピンとメキシコを結ぶ公益船がウマタック湾に寄港した際、海賊から船を守るために築かれた見張り台、迫力ある大砲が3つ並んでおりました。

次に北に向かって「イナハン」に行く途中グアムの最南端あたりにグアメリカライオンズクラブと日本の名古屋千種ライオンズクラブとの協賛に依り作られたバス停がありました。壁面に名古屋城、花、桜、日の丸、と大変カラフルな色のバス停でした。そして北に向かって「イナハン」です、イナハン天然プールに程近いアグファジャン岬先端にあるベア、ロック、熊のように見える岩、亀のように見える岩がありました。

次が「タロフオフオの滝」グアム島南東部を流れるタロフオフオの支流にありロープウェイで滝まで向かった、ジャングルの奥地にある3段の滝、幅約20メートル、落差約9メートルあり大変迫力ある滝でした。



海をバックに 古河L、吉田L、内田L



集合写真



乗船中の谷口L



観光中の吉野Lと内田L



すばらしい眺め



デルタ航空機内で



ガラガラの機内

タラフオフオの滝から歩いて10分ほどの所に元日本兵、横井庄一さんが28年間潜伏していた横井ケープの近くまで行きました。良くも28年間潜伏し生きておられたものだその精神力と生命力の凄さに心を打たれました。

次は「ジーコ」です、そこには平和慰霊記念公園があります。太平洋戦争当時米軍と壮絶な戦いの末日本軍が全滅した地、多くの日本兵と米兵、グアムの民間人の命がここで失われたことを慰霊し、1970年に祈念塔が建てられたとのこと、ここに眠っている方々のお陰で今の平和があることをしみじみと感じました。

同じく「ジーコ」で恋人岬に来ました。スペイン統治時代、美しいチャモロの女性がスペイン人将校との結婚を迫られ、チャモロ人の恋人と互いの髪を結び合って身を投げたという伝説の岬、今は永遠の愛を誓うカップルの聖地として知られている、観光で来ている方々を良く見ると韓国の若いカップルの人達が多く来ておりました。

そのあとホテルに戻り久場純枝さんご夫妻のお計らいで、ホテル、ニッコグアムの桃季にてプライベートの食事会で親睦を深めました。



タラフオフオの滝の前で



交流会で両クラブ参加者全員で



交流会でスピーチする内田L



内田L 最高の笑み



太平洋戦争記念館



グアムニッコホテル内で久場Lご夫妻と

10月18日 (水)

久場純枝さんの特別のお計らいによりグアムの知事、エディ、バザ、カルボさんと10:30にお会いする事ができました。グアムの道路は珊瑚で作っているけれど大変すべりやすいのでその上に日本のアスファルトの舗装で仕上げている、グアムの道路は日本の道路ですよ、笑、笑、大変気さくな方で日本大好き、特にディズニーランド大好きですよ、年が明けたら日本に行く用事があるので、その時には浦安のディズニーランドの中のクラブ33に是非案内してほしい、久場純枝さん一緒に行こうね、と会話がはずんだひと時でした。そのあと久場純枝さんと昼食をしホテルに帰りました。

グアム空港—グアム発ユナイテッド航空—UA873—17:10発

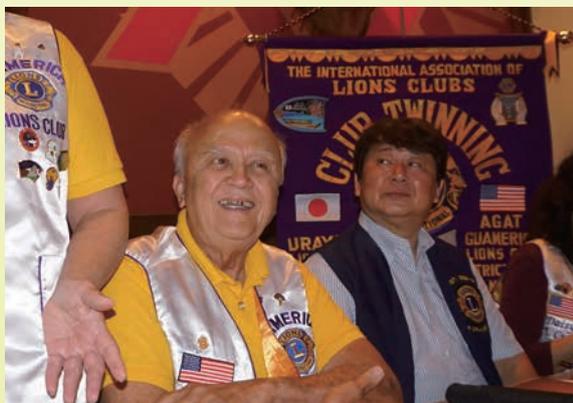
成田空港—19:55、到着、無事に帰りました。以上



グアム知事控室にて



グアム知事カルボさんと一緒に



グアムメンバーと一緒に 熊切L



グアム知事室にて



記念バナーの前で 古河L



記念バナーの前で 熊切L



グアメリカライオンズクラブ提携に尽力した
古河Lが国際協会より表彰されました



浦安L.C.訪問団
吉田L 内田L 谷口L 熊切L



グアメリカL.C.訪問団一行
左から 熊切L 谷口L 内田L
吉野L 北村L 吉田L 古河L

追記

この度、グアメリカライオンズクラブに訪問する前に北朝鮮がミサイルを4発グアム海域に発射する、との報道がありこれは大変だ、という事で、日本では学校の修学旅行は各学校とも全部取り止めました。グアムに観光に行く人々もほとんどグアム行きを取り止めました。その中であって、まあ大丈夫だろうということで私達は行ってきました。

グアムの現地の人達はどのような状況なのかと思い、久場純枝さんに聞きましたところ、現地の人達は心配していない、アメリカの軍隊が居るから大丈夫なんですよ、心配はしていませんよ、グアムの人達の生活習慣は、いつもスーパー等で買い物する時は、食料、水等、2ヶ月分の買い物をするのですよ、従って各家庭の冷蔵庫も大きいのですよ、ところが日本のマスコミの方々が、グアムに来てグアムの人達の生活習慣を知らないで、現地の人達がスーパー等で2ヶ月分の買い物をしているのを見て、北朝鮮のことで戦争になったら大変だ、備える為に2ヶ月分の食料と水を買っていましたと、日本に帰って報道したのだからよけい日本の方々に危機感をあおってしまったので日本からの観光客がパタッと来なくなってしまった。グアムとしては非常に迷惑をしている、知事さんも言うておりました。

グアムは観光事業で持っている、その観光の道を開いてくれたのは日本の方々なのですよ、日本に帰ったらグアムは大丈夫だと言ってください。と言われておりました。ゆっくりと観光に行くのは空いている今がチャンスかな？

浦安市チャリティテニス大会の開催

2018年6月2日、浦安市運動公園テニスコートにて、浦安シーサイドライオンズクラブ、浦安中央ライオンズクラブと共に、3クラブ合同アクティビティとして「浦安市チャリティテニス大会」を開催しました。

東京パラリンピックの開催で、障害者スポーツも徐々にですが注目を浴びるようになってきましたが、浸透されているかという点、まだまだ認知も低い状況です。浦安市に障害者用テニスコートが完成したことをきっかけに、ライオンズクラブでも障害者スポーツに何か支援できないかという検討を始め、障害を持つ青少年がスポーツできる環境作りに貢献したく、今回のチャリティイベントを開催する運びになりました。

テニスに興味のある健常者のお子様であればラケットさえあれば、テニスを試してみることができますが、障害を持つお子様がテニスをするためには、スポーツ用の車いすが必要であるということも分かり、その車いすは高価なものでもありテニスのお試しで手に入れるには費用的なハードルがあります。いつでも自由に借りることができるスポーツ用車いすが用意されていれば、健常者のお子様同様にテニスを体験、プレーができるようになります。そのような思いから、車いすを購入できるよう、テニス大会を通じ参加者からチャリティをいただきました。

当日は内田市長の始球式から始まり、一般参加者30組の男・女ダブルスの白熱したトーナメントが行われました。またイベントとして、Jr車いすテニス全日本チャンピオンの坂口選手のデモンストレーションや、コーチによる車いすテニスプレー体験会を行い、参加者にも大変好評な楽しく充実したテニス大会となりました。

浦安のライオンズクラブとしては、テニス大会は初めての試みでしたが、お陰様で無事終わることができ、今回のチャリティ大会にて、参加費で購入したスポーツ用車いす1台を、日本車いすスポーツ協会に寄贈させていただきました。最後になりますが、今大会に多大なるご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げます。



大会委員長 L熊切 克巳



車いすテニスデモンストレーション



車いすテニス体験会



表彰式



内田市長と坂口選手（中央）



車いす寄贈式



参加者集合



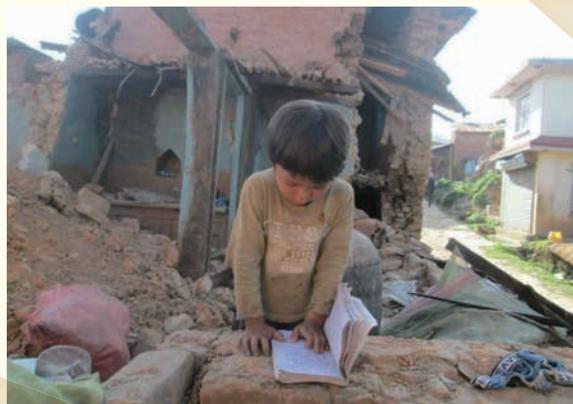
当クラブメンバーで、
ネパール出身のタパは、今年で入会4年目になります。
今までの活動をご紹介しますとともに、
今後の更なる活躍を期待します。



2015年9月に起きた関東・東北豪雨。茨城県常総市でボランティア活動を行いました。
鬼怒川の決壊で、3000戸以上が浸水しました。



2015年4月25日のネパール大地震。首都カトマンズ北西約77キロ(ゴルカ郡)を震源とするM7.8の地震が発生しました。その後の余震の影響もあり、死者8,790人、負傷者22,300人、全壊家屋約51万戸、半壊家屋約28万戸という、甚大な被害が起きました。



ネパールの首都カトマンズで、松本宰史と共
に、地震で家が倒壊してしまった人にお金を寄付しました。



ネパールに到着した時の
ウェルカムパーティー



日本から持ち込んだ物資を被災した子ども達に配給しました。



333-C地区キャビネットからネパールへの寄付金が授与されました。
 そのおかげで、ネパールの首都カトマンズの小学校に多数のパソコンを寄付することができました。
 子ども達は、パソコンを楽しく操作していました。



これは地震の時ではありませんが、浦安LCが購入したブランケットを
 ネパール・ポコラの年配の方々に配布しました。



タパシは、ネパール・ポコタで身寄りのない子ども達35人に対し、
 衣服、食事の世話、そして学校へ通えるように5年前からサポートしています。
 写真は、日本の100均ショップで購入したレインコートを現地で着た時のものです。
 タパシは、将来この子ども達に家を建ててあげるのが夢だそうです。



2015年11月29日、
 宮城県南三陸町福興市の
 吉原総貴L(中央)と共に。



2015年11月、
 日の出海岸沿い緑道にて、
 植樹祭に参加しました。



西葛西で献血しました。
 (^_^)v

公益財団法人 千葉県アイバンク協会 とは

設立の経緯

ライオンズクラブは盲目の聖女・ヘレンケラー女史の「ライオンズよ暗闇と闘う盲人の騎士たれ」という言葉を真摯に受けとめ「失明の人に光を」を合言葉に日本でも八複合地区それぞれがアイバンク活動を行っております。

当協会は 1985 年（昭和 60 年）に 333-C 地区が基金 2 千万円、千葉県が基金 1 千万円、合計 3 千万円の基金を出資設立し角膜移植の斡旋事業者として厚生労働省の認可を得て発足しております。



公益財団法人 千葉県アイバンク協会
理事長 内田 千尋

事務局

千葉大学医学部眼科教室に事務局員 1 名を置いて業務を行っております。

理事長

- 初代理事長——秋場 寛（元地区ガバナー、上総一ノ宮 LC 所属）
- 二代目理事長——江畑耕作（元地区ガバナー、旭 LC 所属）
- 三代目理事長——林 静誠（元地区ガバナー、船橋中央 LC 所属）
- 四代目理事長——花岡和明（井上記念病院、理事長、千葉京葉 LC 所属）
- 五代目理事長——岡野正義（元地区ガバナー、千葉 LC 所属）
- 六代目理事長——内田千尋（元地区ガバナー、浦安 LC 所属）現在に至る。

運営状況

理事 11 名（ライオンズ関係と有識者）、評議員 18 名（ライオンズ関係と有識者）、監事 2 名（有識者）、事務局長 1 名（ライオンズ関係）、事務局員 1 名。

毎月 1 回実務者会議を行っている。

主なるメンバー、林 静誠（元地区ガバナー）、岡野正義（元地区ガバナー）、笹本 瞭（元地区ガバナー）、内田千尋（元地区ガバナー）、塚田雅二（元地区ガバナー）、正木 守（元地区ガバナー）、木村英俊（地区ガバナー）

事務局長関根政子（千葉ゆうきの LC）、事務局員 都築 薫、

今期の場合は、333-C 地区、

地区献血・献眼推進・糖尿病教育委員長 L 寺西康昭（市川南）

地区献血・献眼推進・糖尿病教育副委員長 L 須藤邦夫（松戸ユウカリ）

地区献血・献眼推進・糖尿病教育副委員長 L 平林 昇（夷隅）

事務局員以外は全員無報酬にて業務を行っている。



ヘレン・ケラー像建立除幕

運営資金

例えば、各クラブの周年行事、各クラブのチャリティ行事を行った時等、奉仕活動事業の一環として、アイバンク協会に寄付というかたちで頂いております。又ライオンズクラブのメンバーの方々、及び一般の方々に賛助会員になっていただき、会費として頂いております。

但し（国からの補助金、千葉県からの補助金、千葉市からの補助金、全てありません。）

PR事業

毎年行われている、333-C地区年次大会の会場に、アイバンク協会のブースを設営し、地区献血・献眼推進・糖尿病教育委員会委員長、と共にPRを行っております。

又、地区献血・献眼推進・糖尿病教育委員会主催による「献眼推進研修会並びにサポーター講習会」を開催して頂き、日本アイバンク協会から講師として、常務理事西田輝夫様等により、毎年ご講演を頂いております。

業務内容

角膜は眼球の最前部にある黒目と呼ばれる透明な組織です。角膜が透明であれば、近視、遠視、乱視、老眼、白内障、緑内障、年齢などに関係なく献眼することができます。この角膜を損傷した失明者は角膜提供を受けてのみ光を取り戻すことが出来ます。角膜移植を希望されても角膜の提供者が出るまでは待機患者として角膜提供の発生を待ち続けることとなります。

角膜の提供は当協会にご遺族からのご連絡を頂いて、協会が大学に摘出医の派遣を要請する等の手配を行います。提供された角膜は千葉大学医学部に登録している待機患者移植されますが、適当な該当者がいない場合には他の大学病院に斡旋もされます。

留意事項

白内障や網膜の病気があっても角膜移植は出来ませんが、肝炎等の感染症がある場合には角膜移植をすることが出来ません。また、眼球の摘出後は可燃性の義眼をお入れして顔を綺麗に整えます。

献眼登録

角膜の提供は死後 12 時間以内が望ましいとされているので、死後速やかにご連絡を頂くようお願い致します。

そのため生前に予め献眼登録をして献眼の意思表示をしておくことをお願い致します。登録申請の用紙はアイバンク協会に連絡いただければすぐに送付いたします。各クラブの献眼推進委員はこの用紙を準備して置くようお願いいたします。献眼登録してもご家族が承知していなければ献眼は実現されないのです、献眼登録してあることをご家族の皆様にお伝えしていただくようお願い致します。

角膜移植の結果

角膜移植の結果、失明された方は光を取り戻し第二の明るい人生を送る事ができます。現在、我が国では角膜移植手術を受ける方が年間約 2,800 人ですが、その5割強を輸入角膜に頼っている状況です。移植された角膜は涙を栄養源として末永く生き続けることとなります。角膜提供は最高の奉仕活動です。当協会の他、千葉県知事、厚生労働大臣、(ライオンズ会員関係者の場合は地区ガバナーからも)感謝状が授与されます。

ここで特に皆様にお願いがございます。

献眼登録をされている方がお亡くなりになった時、「本人の意思を尊重していただき」ご家族の方からアイバンク協会に、献眼提供のご連絡をいただくようお願いいたします。

又献眼登録されていない方でも、献眼提供されることについて、「ご家族の同意があれば、献眼提供出来ますので、ご家族の同意をいただいた上で」アイバンク協会にご連絡いただくようお願いいたします。

アイバンク協会と致しましては、皆様方からの、「ご連絡をいただくことが、唯一の便り」でございますので、そのことをご理解いただき、今後共宜しく、お願いいたします。

連絡先・平日は (9:00-17:00)
公益財団法人 千葉県アイバンク協会
TEL 043-222-6803 番へ。

.....

夜間・休日は 千葉大学病院の眼科まで
TEL 043-222-7171 (代表)が出ましたら、
口頭で、内線 6616 番、献眼したいのですが、
と、お話しください。

内田千尋Lが「旭日双光章」を受章

平成30年春の叙勲において、内田千尋Lが地域経済全般にわたる振興に多大な貢献をした功績などが認められ、「旭日双光章」を受章されました。7月26日(木)には、東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートにおいて受章祝賀会が盛大に開催され、市内外から400名以上が出席されました。



第47期委員会組織

■委員長 ■副委員長

■第一副会長 L小林 祐子

会員・FWT委員会	L加賀田 将 虎	L吉 田 賢太郎	L池 田 実 夫	L江 口 隆 定
	L大 石 守 史	L白 木 聖 代	L島 田 富美子	
会則・付則委員会	L大 石 守 史	L内 田 千 尋		
出席委員会	L吉 野 公 大	L白 井 寛 之	L谷 口 教 仁	L小 川 隆
計画・財務委員会	L丸 茂 陽 一	L保戸田 優		

■第二副会長 L長 野 朋 樹

環境衛生・献血献眼推進委員会	L増 田 勉	L皆 川 光 司	L亀 井 正 博	L指 田 勝 希
	L芝 田 錦 一	L鈴 木 政 高	L古 河 守 男	L高 梨 良 茂
社会福祉委員会	L渡 辺 照 雄	L江 口 隆 定	L大 塚 行 雄	L池 田 実 夫
	L宇田川 博 信	L内 山 昌 紀	L梅 澤 勇	L鈴 木 政 高
	L保戸田 優			
会 計 監 査	L指 田 勝 希	L芝 田 錦 一		

■第三副会長 L金 子 康 行

青少年健全育成・LQ委員会	L島 田 富美子	L大 塚 行 雄	L小 川 純一朗	L加賀田 将 虎
	L高 瀬 治 之	L白 井 寛 之	L高 梨 良 茂	L鈴 木 政 高
	L宇田川 博 信	L梅 澤 勇	L亀 井 正 博	L増 田 勉
	L皆 川 光 司	L渡 辺 照 雄	L小 川 隆	
PR・IT情報委員会	L内 山 昌 紀	L熊 切 克 巳	L吉 野 公 大	L高 瀬 治 之
	Lネタラ・B・タバ			
国際親善・YCE委員会	L白 木 聖 代	L古 河 守 男	L丸 茂 陽 一	L吉 田 賢太郎
	Lネタラ・B・タバ			

■特別委員会

チャリティーゴルフ委員会	L吉 田 賢太郎	L小 川 純一朗	納 涼 委 員 会	L谷 口 教 仁	
クリスマス委員会	L白 木 聖 代	L伊 藤 能 孝	旅 行 委 員 会	L小 川 純一朗	
ミクラブ合同アクティビティ	L児 玉 康 博				

■333-C地区 キャビネット役員 (出向者)

地区ガバナー・LCIF地区コーディネーター	L木村 英俊(柏さくらLC)
地区名誉顧問・元地区ガバナー	L内田 千尋(浦安LC)
地区FWTコーディネーター	L小林 祐子(浦安LC)
1R 1Z ZC	L中塚 吉明(市川北LC)
1R 2Z ZC	L須田 鐵男(行徳LC)
地区ライオンズクエスト委員長	L広瀬 直樹(浦安LC)
地区情報(PR・IT)委員(1R)	L熊切 克巳(浦安LC)
地区YCE委員(1R)	L白木 聖代(浦安LC)
地区ライオンズクエスト委員	L高瀬 治之(浦安LC)

西日本豪雨災害 街頭募金

7月29日(日)午前9時から11時まで、東京メトロ東西線浦安駅前にて、「西日本豪雨災害」街頭募金活動を行いました。多くの方から温かいご協力をいただきました。ありがとうございました。(募金額100,915円)



浦安ライオンズクラブのご案内

浦安ライオンズクラブの歩み

1971/10 浦安ライオンズクラブ結成
 1974/10 三浦ライオンズクラブと姉妹提携
 1980/2 米国エルカミノクラブと1R姉妹提携
 1981/10 第1回チャリティーゴルフ大会開催
 1985/5 財団法人千葉県アイバンク協会設立に寄付
 1986/6 浦安シーサイドライオンズクラブ結成をスポンサー
 1989/4 浦安市100周年記念表彰式参加
 1990/1 浦安市とオーランド姉妹都市提携の記念植樹
 1993/7 浦安中央ライオンズクラブ結成をスポンサー
 1999/5 盲導犬助成チャリティーディナーショー主催

2012/4 浦安ライオンズクラブ40周年記念式典にて、
 防犯パトカー寄贈
 2017/4 米国グアム グアメリカライオンズクラブと
 姉妹提携

題字 関根 薫園氏
 浦安ライオンズクラブ会報
 「獅子吼」初号



浦安ライオンズクラブ誕生の記録

333-C地区 1R 2Z 所属
 スポンサークラブ 市川ライオンズクラブ
 結成式 1971年10月3日
 認証式 1972年4月16日
 日本国内で1623番目のクラブとして発足

提携クラブ

- 三浦ライオンズクラブ(330-B 8R 3Z)
- 米国アナハイム市ブレイクファーストライオンズクラブ
 1982年12月3日 代表L6名 訪米し調印
 1983年5月15日 代表L2名 訪日、訪浦し調印
- 米国カリフォルニアガーデナー市
 エルカミノライオンズクラブ(4L3) (1R提携)
- 米国グアム グアメリカライオンズクラブ
 2017年4月9日45周年CNにて調印

理事会・例会会場

理事会：第1火曜日 ライオンズ事務局
 第1例会：第2火曜日 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート
 第2例会：第4火曜日 ホテルオークラ東京ベイ

午後6時開会
 午後7時開会
 午後7時開会

47期役員

会長 (GAT)	L 広瀬直樹	一年理事	L 丸茂陽一
前会長 (LCIF)	L 熊切克巳	二年理事	L 白木聖一代
第一副会長 (GLT)	L 小林祐子	二年理事	L 島田富美子
第二副会長 (GST)	L 長野朋樹	二年理事	L 谷口教仁
第三副会長 (GST)	L 金子康行	二年理事	L 内田千尋
幹事	L 伊藤能孝	会員理事(会員委員長) (GMT)	L 加賀田将虎
会計	L 児玉康博	テールツイスター	L 古河守男
一年理事	L 芝田錦一	ライオンテマー	L 高瀬治之史
一年理事	L 皆川光司	副ライオンテマー	L 大石守
一年理事	L 吉田賢太郎		



第47期三役の皆さん
 (L広瀬、L伊藤、L児玉)

事務局のご案内

〒279-0004
 浦安市猫実1-19-36浦安商工会議所会館内
TEL 047-353-2203 FAX 047-350-0729
 E-mail : mail@urayasu-ic.jp
 URL : http://www.urayasu-ic.jp/

